

健康診断における新型コロナウイルス感染対策について

平素より、健康診断をお受けいただきありがとうございます。また弊社運営へのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

現在、皆さまに安全な健康診断をご提供できるよう感染対策に努めておりますが、ご担当者様はじめ、受診者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

つきましては、以下の「基本的対策とお願い」の1～10をご一読いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

<基本的対策とお願い>

1. 当協会職員は、マスク着用のうえ受診者ごとに手指や機材の消毒を実施いたします

待ち時間や健診所要時間が長くなる可能性があります。場合によっては、事前に受付時間変更等お打合せさせていただきます。

2. 健診会場内では、原則として不織布マスクの着用にご協力をお願いします。

体質等により不織布マスク使用が困難な場合は、他の材質でも構いません。

3. 周囲への感染リスクがある場合は、受診をご遠慮いただきます。

(詳細は、A・Bをご参照ください)

A. 受診をお断りする場合

次に該当する方は、受診をお断りします。該当しなくなってから受診してください。

- ① 新型コロナウイルスに感染した後、厚生労働省の定める退院基準・宿泊療養及び自宅療養等の解除基準を満たしていない方、及びその後の検温などご自身による健康状態の確認等を行う期間が終了していない方。
- ② 受診時に風邪症状（発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛）や関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐、味覚障害、嗅覚障害のある方、及び受診日前の7日間以内にこれらの症状があった方。
- ③ 下記のいずれかに合致する方のうち、受診時に厚生労働省が示す待機期間内の方。
 - ・ 諸外国への渡航歴がある方。
 - ・ 新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と認定された方（検温などご自身による健康状態の確認等を行う期間を含む）。

B. 受診延期を考慮していただきたい場合

① 新型コロナウイルスに感染した方

新型コロナウイルスに感染した場合、他者への感染の心配が無くなった後もしばらくの間は健診の結果に異常がみられる可能性があります。入院や療養の解除基準を満たし

てから十分な期間を置き、体調が十分に回復してから受診することを推奨します。

② 新型コロナワクチンを接種した方

接種後、3日以上経過してから受診することを推奨します。副反応が起きた方は、体調が十分に回復してから受診することを推奨します。

③ 基礎疾患のある方、高齢者の方

新型コロナウイルスに感染すると悪化しやすいとされる高齢者、糖尿病・肥満症、心不全・呼吸器疾患といった基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方は、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発令期間中は、受診延期を考慮することを推奨します。

4. 直に肌へ密着し、現場での消毒ができないものは使い回しいたしません

胃部レントゲン用の検査着や止血ベルトは、受診者ごとに新しいものと交換いたします。

※ 心電図を受ける方は、検査中に胸を覆うタオルを1枚ご持参ください。

(お持ちでない場合は、共有になります。)

5. 胸部レントゲンの検査着を廃止します

※ 受診者自身の肌着やTシャツで受けてください

受診票にも詳細な注意書きを添付していますが、皆さまへの周知徹底にご協力くださいますようお願いいたします。

6. 必要に応じて、ゴーグルやフェイスシールド、設置型透明フィルターを使用します

設置型透明フィルターを使用する場合は、準備や片付けに時間を要するため、ご理解の程お願いいたします。

7. 密集を避けるために、検診車内の待機人数を制限します

検診車外に間隔を空けて待ち椅子を準備いたします。スリッパは車内に乗れる人数分しか準備しませんので、スリッパがない場合は、車外でお待ちくださいますようお願いいたします。

8. 可能な限り、3密（密閉・密集・密接）を避けた環境整備を行ないます

換気のためのドアや窓の開放、時間ごとの受付人数の調整等ご協力をお願いすることがございます。

9. 室内では待ち椅子は置かず、立位で周囲と間隔を空けてお待ちください

会話を控えソーシャルディスタンスを意識し、お待ちくださいますようお願いいたします。

10. 問診票は、事前にご記入ください

健診会場での問診記入は、密集や筆記具の使い回しに繋がりますので、会場に入る前に記入をお済ませください。